

2025年度

学生募集要項

一般選抜

A日程

B日程

大学入学共通テスト利用方式

日本体育大学
Nippon Sport Science University

■ **体育学部**

体育学科／健康学科

■ **スポーツ文化学部**

武道教育学科／スポーツ国際学科

■ **スポーツマネジメント学部**

スポーツマネジメント学科／スポーツライフマネジメント学科

■ **児童スポーツ教育学部**

児童スポーツ教育学科（児童スポーツ教育コース／幼児教育保育コース）

■ **保健医療学部**

整復医療学科／救急医療学科

建学の精神（基本理念）の解釈・ミッション（社会的使命）・ビジョン（目標）

●建学の精神（基本理念：創立の想い、設置目的）

『たい いく ふ きょう の もとい 體育富強之基』

真に豊かで持続可能な社会の実現には、心身ともに健康で、体育スポーツの普及・発展を積極的に推進する人材の育成が不可欠である。

本学は、その母体を明治24（1891）年に設立された体育会（翌年、日本体育会に改称）とし、この時、創設者日高藤吉郎が掲げた、「體育富強之基」（「体育は富国強兵の基本である」）を建学の精神としている。

昭和24（1949）年、日本体育大学体育学部設置に際し、国際平和の実現に寄与する国づくりを念頭に、その精神は、「体育は肉体をより強靱に富ます基礎である」と解されるようになった。

さらにその後、本学が創設以来、一貫して、スポーツを通じ、全ての人々の願いである“心身の健康”を育み、あわせて世界レベルの優秀な競技者・指導者の育成を追求し続けてきたことに鑑み、今日、この建学の精神（基本理念）は、上掲の通り、解釈が加えられている。

●ミッション（社会的使命：果たすべき役割、存在意義）

本学は、「建学の精神」の具現化、即ち、「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」のため、次の使命を果たす。

1. 体育スポーツ学、教育学、保健医療学分野における先駆的・実践的研究を通じて、人間の「活力ある身体」について、その真理を探究する。
2. 国際社会・地域社会において、先導的役割を担う有為な人材を輩出し、人類共通の願いである、幸福で豊かな社会の構築に資する。
3. スポーツ文化の深化・発展に努め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの精神の実践・普及を推進し、スポーツのもつ様々な「力」を活用して、国際平和の実現に寄与する。
4. 高度な国際競技力を有し、他者の「生き方」モデルとなる優れたアスリートを育成するとともに、人間の心身の可能性（生命の輝きや身体の躍動など）を追究し、活力に満ちた社会の創生に貢献する。

●ビジョン（目標：目指すべき姿、将来像）

本学は、その社会的使命を果たすとともに、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、かかる分野のリーディング・ユニバーシティを目指し、「教育」「研究」「社会貢献」について、次の目標を定める。

【教育】

人間の「活力ある身体」を熟知し、その多様性を受け容れ、地球市民として各分野で活躍できるグローバルリーダーを育成する。

そのため、教養及び専門的知識・技能の修得、涵養はもとより、コミュニケーション力（言語・表現力）、課題発見・解決力、創造的思考力などを身につけ、複眼的な視点をもって協働・共生のできる人材を養成する。

【研究】

真摯な基礎研究と課題解決に向けた実践的研究を高い水準で展開し、各専門分野の連携を図りながら、学際的研究に取り組むとともに、その成果を広く社会に発信する。

とりわけ、体育・身体活動・スポーツの実践から生じる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野から総合的に分析・検討を加え、得られた新たな知見や解決法を実践現場に還元する双方向的研究活動を推進する。

【社会貢献】

あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元する。

これにより生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献するとともに、大学と社会との「知と技」の好循環を創出することにより、地域社会の力を引き出す大学として、その拠点を形成する。

目 次

募集人員	4
出願から入学までの流れ	5
3つの方針	
・体育学部が定める3つの方針	6
・スポーツ文化学部が定める3つの方針	9
・スポーツマネジメント学部が定める3つの方針	11
・児童スポーツ教育学部が定める3つの方針	13
・保健医療学部整復医療学科が定める3つの方針	15
・保健医療学部救急医療学科が定める3つの方針	17
「学力の三要素」を踏まえた多面的・総合的評価について	19
一般選抜要項	20
1. 出願資格	20
2. 選抜日程・試験場	20
3. 選考方法	21
4. A・B日程における英語外部試験の活用について	22
5. 併願パターン及び入学検定料	23
6. 試験当日時間割	23
7. 出願書類	23
出願に関する注意事項	26
1. 受験票の送付について	26
2. 出願上の注意	26
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	26
4. 外国籍を有する者の出願書類について	26
5. 本学からの連絡について	26
Web出願の流れ	27
出願手続Q&A	31
受験上の注意事項	33
合否照会について	35
入学手続	37
学費案内	38
学生生活案内	39

募 集 人 員

[体 育 学 部]

学 科	入学定員	一 般 選 抜		
		A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
体 育 学 科	800	50		
健 康 学 科	195	15		
合 計	995	65		

[スポーツ文化学部]

学 科	入学定員	一 般 選 抜		
		A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
武 道 教 育 学 科	90		2	
ス ポ ー ツ 国 際 学 科	90	20		
合 計	180	22		

[スポーツマネジメント学部]

学 科	入学定員	一 般 選 抜		
		A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト 学 科	245	10		
ス ポ ー ツ ラ イ フ マ ネ ジ メ ン ト 学 科	110	5		
合 計	355	15		

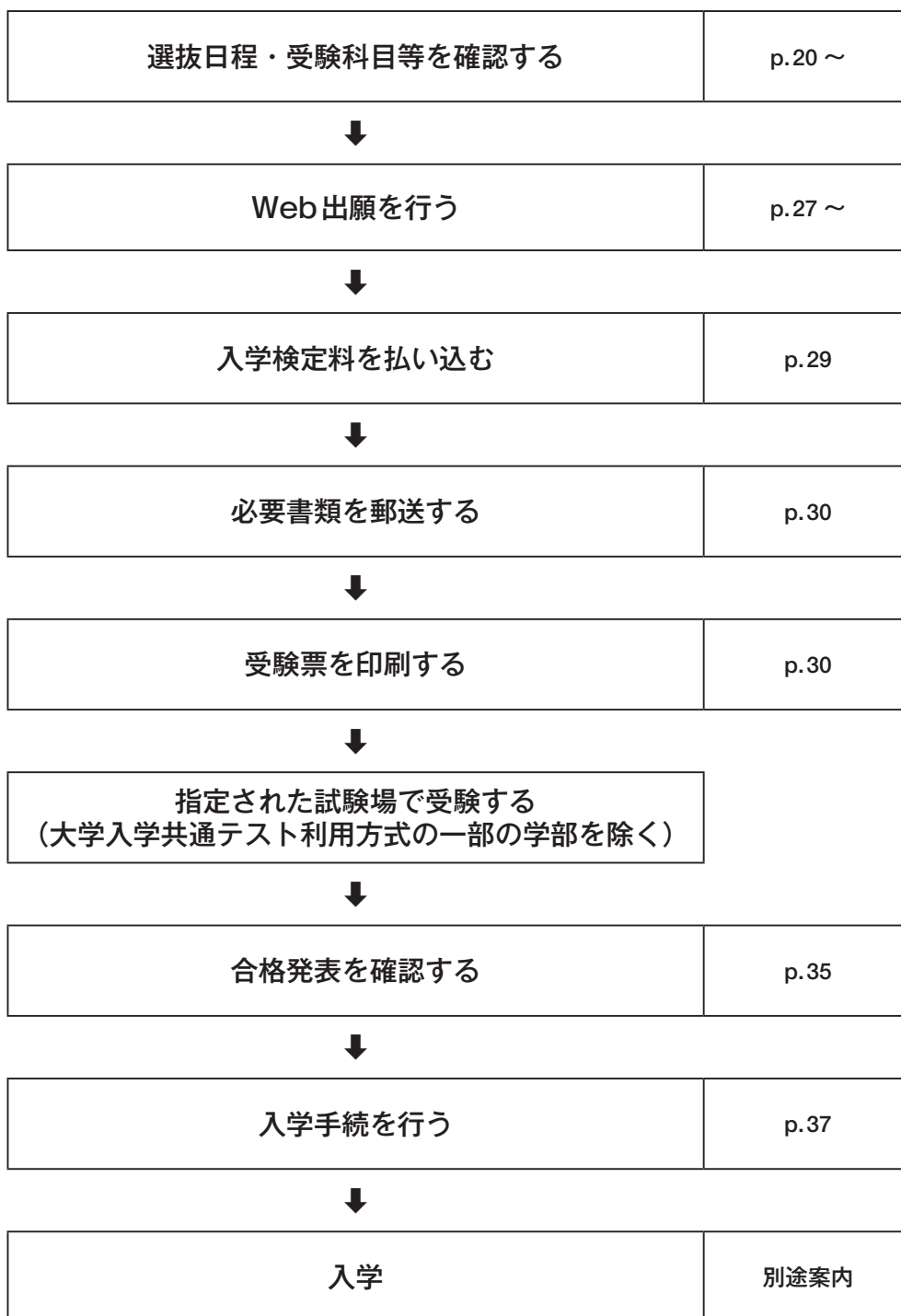
[児童スポーツ教育学部]

コース	入学定員	一 般 選 抜		
		A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
児 童 ス ポ ー ツ 教 育 コ ー ス	120	5		
幼 児 教 育 保 育 コ ー ス	50	—	3	
合 計	170	8		

[保健医療学部]

学 科	入学定員	一 般 選 抜		
		A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
整 復 医 療 学 科	90	4		
救 急 医 療 学 科	80	4		
合 計	170	8		

出願から入学までの流れ



志願者の提出書類について

出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項を行うために利用します。これらの業務の一部を本学より業務の委託を受けた業者に個人情報を提供する場合があります。

また、個人が特定されないように統計処理した情報を、今後の入学選抜及び広報活動のための調査に利用します。予めご了承ください。

体育学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

体育学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育学・スポーツ科学・健康科学に関する専門教育並びに教養科目に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能
 - (1) 幅広い教養と専門分野（体育学・スポーツ科学・健康科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
 - (2) 体育とスポーツ文化への理解をもち、体育・スポーツの発展に貢献できる人物になるための科学的知識・思考並びに実践力を身に付けている。
2. 汎用的能力
 - (1) 専門的知識を使って体育・スポーツ・健康に関する課題の発見・解決の方法を見出すことができる。（課題発見・解決能力）
 - (2) 現象を筋道を立てて思考し、課題解決のために科学的思考と規範的判断力を運用できる。（論理的思考力・規範的判断力）
 - (3) ICTをはじめとする多様な手段を使って情報を収集・分析し、日本語と外国語を使った高度なコミュニケーションができる。（リテラシー）
 - (4) 競技力向上から教育・健康・福祉まで、人々の多種多様な体育・スポーツ・健康への取り組みを専門的知見に基づいてサポートすることができる。（未来社会を構想・設計する力）
3. 態度
 - (1) 世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の課題解決に向かって主体的に参画し、多様な活動を立案・運営できる。
 - (2) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。
 - (3) 現実の社会生活において規範やルールを尊重し、高い倫理観を備えようとしている。
 - (4) 教養並びに専門的知識を活用しつつ自己への洞察を深め、生涯学び続けながら自己を大切に生きようとしている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成
 - (1) 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
 - (2) 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外（野外）実習科目を設ける。
 - (3) 体育・スポーツの専門家として、また人権意識を持つ地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
 - (4) 多様性を受け容れ、共生・共感的態度を持った体育・スポーツの専門家として幅広い教養を身に付け、生涯学び続ける態度を養うために「スポーツ教養科目」並びに「基礎教養科目」を配置する。
 - (5) 体育学の学門的専門性を養うために、体育学全般の基礎を扱う「研究ゼミナールA」を1年次に、各コースでの専門への導入を扱う「研究ゼミナールB」を2年次に、卒業研究のための基礎的研究活動を行う「研究ゼミナールCⅠ」を3年次前期、「研究ゼミナールCⅡ」を3年次後学期に配置する。卒業研究のための実践的研究活動を行う「研究ゼミナールDⅠ」を4年次前期、卒業研究を含む「研究ゼミナールDⅡ」を4年次後学期に配置する。以上の科目設置によって体育学の専門家としての段階的、体系的な能力向上を図る。
 - (6) 多様な社会や人材へ対応することができるよう「サブプログラム」を設ける。

【体育学科】

スポーツ科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるため、体育学科共通科目を設ける。

- (1) スポーツ科学専攻
競技スポーツを中心としたスポーツ科学における専門的知識と実践的応用力を養うために「アスリートプログラム」「スポーツコーチングプログラム」「競技サポートプログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。

- ① アスリートプログラム
競技力向上に関する専門的知識と実践力を身に付けるため、アスリートに関わる専門的知識と実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
 - ② スポーツコーチングプログラム
スポーツコーチングに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、競技力向上のための実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
 - ③ 競技サポートプログラム
競技サポートに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、必要な専門科目と競技サポート実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
- (2) スポーツ教育専攻
学校現場をはじめとして、体育・スポーツ実践に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するために、「スポーツ教育プログラム」及び「特別支援教育プログラム」を設け、当該分野におけるより高度な知識と技術とが体得できるよう関連科目を配する。
- ① スポーツ教育プログラム
スポーツ指導者や保健体育科教員に必要な基礎的知識と実践力を身に付けるため、体育学・スポーツ科学・健康科学に加え、教育学、体育科・保健科教育法、スポーツ実践指導法に関する科目を設ける。
 - ② 特別支援教育プログラム
保健体育科教員に加え、特別支援学校教員としての専門知識と実践力を身に付けるため、特別支援教育に関わる総論と共に、免許領域(知的障害、肢体不自由、病弱)に関する科目を設ける。

【健康学科】

健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、健康学科共通科目を設ける。

- (1) ウェルネスライフ専攻
地域の幅広い年齢層を対象にした健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、ウェルネスライフ専攻共通科目を設ける。
- ① 地域健康サポートプログラム
明るい健康長寿社会の実現に向けて、地域住民の健康で安心な生活を支えるために必要な専門的知識と実践力を身に付ける。地域に根差した健康と福祉の増進に関する「地域健康サポートプログラム科目」を設ける。
 - ② 健康ウェルネスプログラム
健康長寿時代における自他の身体作りをサポートするための専門的知識と実践力を身に付けるために、医科学及び指導法に関する「健康ウェルネスプログラム科目」を設ける。
- (2) ヘルスプロモーション専攻
学校現場をはじめとして人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するためのカリキュラムとして「身体教育プログラム」「養護教諭プログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。
- ① 身体教育プログラム
子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けるため、身体活動と保健教育に関する「身体教育プログラム科目」を設ける。
 - ② 養護教諭プログラム
子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた養護教諭に必要な専門的知識と実践力を身に付けるための「養護教諭プログラム科目」を設ける。

サブプログラム

以上のほか、多様な社会や人材へ対応することを目的に以下のサブプログラムを配置する。

- アカデミックプログラム
- 保健体育教諭養成プログラム
- アスレティック・トレーナー養成プログラム
- 航空産業プログラム
- モータースポーツ産業プログラム
- 留学生プログラム

2. 教育方法

- (1) 講義、演習、実技、実習をバランス良く組み合わせ、学生が主体的に学ぶための教育内容の充実を図る。
- (2) 科目及びプログラムの特性に応じて知識伝授型、グループワーク、集団討論、スポーツ実践の現場を対象とした演習などを展開し、学生の動機づけ、目的意識の向上、スポーツ科学理解の深化を促す。

3. 学修の評価

- (1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準についてはルーブリックを作成する。
- (2) 学生自身が学修をふり返り、自己評価を行う機会を設ける。
- (3) 卒業研究によって提出された論文または制作物等から4年間の学修成果を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. 世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の未来構想及び課題解決に関心のある人
2. 体育とスポーツ文化並びに健康への関心をもち、体育・スポーツの発展に貢献しようとする人
3. 他者と協調・協働し、課題解決や未来に向けて活動することに意欲を有している人
4. 体育学部で学修する上で、中等教育などで身につけるべき基礎学力を有している人
5. 体育・スポーツ・健康の専門的知見を基礎として、それらに関係する領域をはじめ広く社会で活躍したい人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツ文化学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

スポーツ文化学部では、本学の「教育目標」と本学が培ってきた伝統に基づき、我が国の体育・スポーツ界並びに来るべき社会を国際的にリードできる人材の育成を図るための独自の教育・研究プログラムを通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- (1) 幅広い教養と、伝統に由来する体系化された「我が国固有の伝統スポーツ文化」である武道並びに伝統芸能に関連した科学的な知識と技能を身に付けている。
- (2) 武道並びに伝統芸能を通じて国際的に貢献するために必要な科学的な知識と技能を身に付けている。
- (3) 日本の精神文化に立脚した体育・スポーツを通じた国際的な社会的課題の解決に必要な知識と技能を身に付けている。

2. 汎用的能力

- (1) スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切に課題を解決することができる。(課題解決力)
- (2) スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切なコミュニケーションを営むことができる。(コミュニケーション能力)
- (3) 課題解決に必要な情報を収集、評価、活用できる。(情報収集力)

3. 態度

- (1) 主体性をもって多様な人々と協働し、スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて取り組もうとしている。
- (2) 多様な他者の意見や思いを共感的に理解しようとしている。
- (3) 生涯にわたり新しい知識やスキルを積極的に身に付けようとしている。
- (4) スポーツの価値や礼節を尊重し、その実現に向けて責任をもって行動しようとしている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成

- (1) 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- (2) 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外(野外)実習科目を設ける。
- (3) 多様性を受け容れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- (4) よき市民及び国際人として身に付けるべき基本的な素養としての社会人基礎力と調和の取れた人間力を形成するため、学部共通科目に「教養科目」を設け、基礎教養に関わる科目と言語コミュニケーション科目を置く。
- (5) 体育・スポーツを通じて国際的な社会的課題を主体的に解決できる能力を育成するために、「総合科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツ文化研究A」、2年次に「スポーツ文化研究B」、3年次に「スポーツ文化研究C・D」、4年次に「スポーツ文化研究E・F」を必修とし、課題解決力、コミュニケーション能力、情報収集力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- (6) スポーツ・健康科学並びにスポーツ指導の基礎的知識、技能、態度を修得するために、「基幹科目」、「展開科目」、「専門科目(体育実技)」を設ける。
- (7) スポーツを通じた国際貢献の基幹となる知識、技能並びに態度を習得するために「学科基礎科目」を設ける。
 - ① 武道教育学科
わが国固有の精神文化に立脚した体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
 - ② スポーツ国際学科
海外の体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
- (8) 体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能等を総合的に活用するために「学科専門科目」を設ける。
 - ① 武道教育学科
武道教育、伝統芸能、体育指導などに関わる教養とスキルを向上させる科目を置く。
 - ② スポーツ国際学科
スポーツ国際交流、スポーツ支援、スポーツ国際開発援助などで今日的課題を実践的に解決する力を獲得するために、国際的な教養とスキルを向上させる科目を置く。

2. 教育方法

- (1) 講義、反転学習、ピア学習、課題探究型学習等を効果的に組み合わせることで、他者と双方向的に関わりながら主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて多様な価値観をもつ人々とコミュニケーションができる機会を提供する。
- (2) 課題探究型学習、フィールドワーク、収集したデータの協同的な分析、発表の機会を設定することで自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に対する興味関心を高める機会を提供する。
- (3) 海外でのスポーツ文化交流や指導体験を通して、異文化理解を促進する機会を提供する。

3. 学修の評価

- (1) シラバスに示した評価規準に即して学修成果を評価する。
- (2) 学修成果は、最終テスト並びに授業過程において実施する小テスト、レポート、発表、実技試験等を踏まえて評価していく。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. スポーツを通じた日本国内外の社会的課題の解決に関心のある人
2. 体育・スポーツに関して、自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
3. 他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
4. 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人
5. 多様な文化・価値観を学び、国・地域や国際社会で活躍したい人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツマネジメント学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

スポーツマネジメント学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- (1) 幅広い教養と専門分野（体育スポーツ学、スポーツマネジメント学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- (2) 現代のスポーツ全体を見渡し、スポーツの価値を有効に活用することで個人や組織、社会の課題解決を図るとともに、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を推進し得る実践的なマネジメント力を身に付けている。

2. 汎用的能力

- (1) 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決のための方策を企画・実行することができる。（企画力、課題解決力）
- (2) 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。（論理的思考力、表現力）
- (3) 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。（コミュニケーションスキル）
- (4) ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。（情報収集・活用能力）

3. 態度

- (1) スポーツを事業として捉えてビジネスチャンスを見出す、ライフステージに応じたスポーツや運動プログラムを企画するなど、スポーツの新たな価値を創造する意欲を有している。（新たな価値の創造）
- (2) 様々な立場の人と協調・協働し、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。（チームワーク、リーダーシップ、参画）
- (3) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。（共生、共感）
- (4) 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。（規範意識、倫理観）
- (5) 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。（自己理解、自己効力感、自律、生涯学習）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成

- (1) 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- (2) 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外（野外）実習科目を設ける。
- (3) 多様性を受け容れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- (4) 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- (5) スポーツマネジメントにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通した「総合教育科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツマネジメント研究A」、2年次に「スポーツマネジメント研究B」、3・4年次に「スポーツマネジメント研究C・D・E・F」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- (6) 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「基幹科目」と「展開科目」を設ける。
- (7) 専門分野の知識・技能を身に付け、社会の状況に応じた実践的マネジメント能力を高めるために、各学科に「学科基礎科目」と「学科専門科目」を設ける。
 - ① スポーツマネジメント学科
スポーツに関係する組織や団体、企業等をマネジメントしたり、スポーツをビジネスと関連付けてマネジメントするための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、世界中で展開しているイベント・商品開発・施設経営など様々なスポーツビジネスの実践現場に活かせる企画力・実践力・プレゼンテーション力を養い、新たな価値を生み出す意欲と態度を培うために、「学科専門科目」を設ける。

② スポーツライフマネジメント学科

多様な人々のスポーツライフをマネジメントし、現代社会の様々な課題を解決するための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、部活動、地域スポーツ、まちづくり、健康づくりなどに関わる指導力とマネジメント力を向上させるための「学科専門科目」を設け、専門性の高い指導者を養成するためにアウトドアスポーツに関わる理論・実習、スポーツ・レクリエーションの実技、高齢者や障がい者のスポーツ指導に関する実技などの科目を配置する。

(8) 多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

2. 教育方法

(1) 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。

(2) 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

3. 学修の評価

(1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、授業内で学生に周知する。

(2) 学修成果は定量的、定性的に評価する。

(3) 「スポーツマネジメント研究E・F」での成果、提出された論文等から4年間の学修を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. スポーツに関わる組織や個人のマネジメント及びスポーツをめぐるビジネスについての知的好奇心の旺盛な人
2. 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
3. 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲を有している人
4. 国内外において体育・スポーツを推進し社会に貢献できるリーダーを目指す人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

児童スポーツ教育学部が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

児童スポーツ教育学部では、本学の「教育目標」に基づき、教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（児童スポーツ教育学）」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能
 - (1) 幅広い教養と専門分野（教育学・保育学、体育・スポーツ科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
 - (2) 児童（乳幼児を含む）の状況に応じた実践的指導力を身に付けている。
2. 汎用的能力
 - (1) 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決することができる。（課題解決力）
 - (2) 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。（論理的思考力、表現力）
 - (3) 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。（コミュニケーションスキル）
 - (4) ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。（情報収集・活用能力）
3. 態度
 - (1) 様々な立場の人と協調・協働し、教育学・保育学、体育・スポーツ科学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。（チームワーク、リーダーシップ、参画）
 - (2) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。（共生、共感的態度）
 - (3) 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。（規範意識、倫理観）
 - (4) 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。（自己理解、自己効力感、自律、生涯学習）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成
 - (1) 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、チームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、本学独自の「日体大総合科目」を設ける。
 - (2) 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
 - (3) 外国語でのコミュニケーションスキルを高めることを目的とした「言語コミュニケーション科目」を2年次までに設ける。
 - (4) 教育・保育、体育・スポーツにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通じた「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」を設ける。この科目群では、初年次に「基礎ゼミナール」、2年次に「児童スポーツ教育演習」、3・4年次に「児童スポーツ教育研究」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
 - (5) 教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「共通専門科目」を2年次までに設ける。
 - (6) 専門分野の知識・技能を身に付け、児童（乳幼児を含む）の状況に応じた実践的指導力を高めるために、「スポーツ実技科目」と「コース専門科目」を設ける。
「コース専門科目」については、各コースで次のように配置する。
 - ① 児童スポーツ教育コース
初等教育に関する知識と指導力を身に付けるために、2・3年次を中心に「教育の基礎に関する科目」、「教科の内容と指導法に関する科目」、「中学校関連科目」を配置する。併せて、本コースの特徴である身体・健康・スポーツに関わる「発展・展開科目」を3年次までに設ける。
 - ② 幼児教育保育コース
幼児教育・保育に関する知識と指導力を身に付けるために、1・2年次を中心に「教育・保育の基礎に関する科目」を設け、2年次を中心に「保育の内容と指導に関する科目」を各学年に配置する。併せて、幼児教育・保育の様々な分野に関する専門的知識と技術を身に付けるために、「発展・展開科目」を3年次以降に配置する。さらに、「教育・保育実習科目」を2年次から3年次までに段階的に配置する。
 - (7) 教職界に限らず、多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

2. 教育方法

- (1) 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
- (2) 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

3. 学修の評価

- (1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、ルーブリックを作成し、授業内で学生に周知する。
- (2) 学生自身が学修履歴を記録するポートフォリオを用意し、学修をふり返り、自己評価を行う機会を「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」の授業の中に設ける。
- (3) 「児童スポーツ教育研究」によって提出された論文・成果物等から4年間の学修を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. 教育・保育への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
2. 教育学・保育学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
3. 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
4. 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

保健医療学部整復医療学科が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保健医療学部整復医療学科では本学の「教育目標」に基づき、整復医療学、医学・伝統医学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（整復医療学）」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能
 - (1) 幅広い教養と整復医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
 - (2) 整復医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。
2. 汎用的能力
 - (1) 国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。（課題発見力、問題解決力）
 - (2) ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。（情報リテラシー、論理的思考力）
 - (3) 他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。（コミュニケーションスキル）
3. 態度
 - (1) 社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。（チームワーク、リーダーシップ）
 - (2) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。（共生、共感的態度）
 - (3) 社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。（規範意識、社会的責任、倫理観、使命感）
 - (4) 省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持続けようとしている。（自己理解、自律、探究心）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健医療学部整復医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成
 - (1) 学部共通教育課程
 - ① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
 - ② 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
 - ③ 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
 - ④ 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「教職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。
 - (2) 学科専門教育課程
専門分野の知識・技能を体系的に身に付け、幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を高めるための科目を以下のとおり設ける。
 - ① 1年次と2年次を中心に、人体の構造や機能を学ぶ科目や柔道整復学の基礎を学修する科目を設ける。
 - ② 2年次から4年次にかけて、病理学や整形外科等の現代医学に関する科目と発展的な柔道整復学やアスリートの外傷予防や治療、リハビリテーションについて学修する科目を設ける。
 - ③ ライフステージや健康状態、スポーツ活動等の特徴に応じた柔道整復の実践を身に付けるため、1年次から4年次にかけて学修段階に応じた臨床実習科目を設ける。
 - ④ 学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため整復医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。
2. 教育方法
 - (1) 講義・演習：知識の定着と技術の正確性を高めるため、反復して学修することを重視する。また、アクティブラーニングを適宜行い、意見や解釈の多様性を理解する。
 - (2) 実習：参加型実習を重視する。倫理観、協調性、自己の役割と責任を認識し、主体的に行動できるよう促す。また、プレゼンテーションの場を適宜設定し、知識の整理と伝える力を養成する。

(3) 臨床実習：多様な患者ニーズに応えるための総合的な実習をスポーツ現場や接骨院でおこなう。

3. 学修の評価

(1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。

(2) 学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等によりおこなう。

アドミッション・ポリシー（入学受入の方針）

保健医療学部整復医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. 整復医療学への強い関心を持ち、これらの知識・技術をととして社会に貢献する意欲がある人
2. 整復医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
3. 自分の考えを論理的にまとめ、表現するためのコミュニケーション力を有する人
4. 多様な人々と協調・協働し、主体的な学びや問題解決への取り組みに意欲がある人

【入学選抜の種類】

入学選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

保健医療学部救急医療学科が定める3つの方針

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

保健医療学部救急医療学科では本学の「教育目標」に基づき、救急医療・蘇生医療・災害医療、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（救急医療学）」を授与する。

1. 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- (1) 幅広い教養と救急・災害医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
- (2) 救急医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。

2. 汎用的能力

- (1) 国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。（課題発見力、問題解決力）
- (2) ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。（情報リテラシー、論理的思考力）
- (3) 他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。（コミュニケーションスキル）

3. 態度

- (1) 社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。（チームワーク、リーダーシップ）
- (2) 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、利他の精神をもって思いやりのある態度を取ろうとしている。（共生、利他性、共感的態度）
- (3) 社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。（規範意識、社会的責任、倫理観、使命感）
- (4) 省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。（自己理解、自律、探究心）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

1. 教育課程の編成

(1) 学部共通教育課程

- ① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
- ② 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
- ③ 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
- ④ 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「教職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。

(2) 学科専門教育課程

教育課程全体を通じて崇高な精神と高い倫理観を養い、専門分野の知識・技能を体系的に身に付けるとともに、幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を高めるための科目を以下のとおり設ける。

- ① 1年次に医療の基礎的な分野の知識を学び、実習では救護対応で必須の観察・判断・処置を学ぶ科目を設ける。また、医の倫理を学ぶために、解剖学に関する科目を設ける。
- ② 2年次からより専門的な分野の知識を学び、実習では救急救命処置に必須の知識と技術を学ぶ科目を設ける。
- ③ 2・3年次には実際の現場においてより実践的に学ぶための病院内実習、救急車同乗実習等を設ける。また、災害医療の実践力を育成するために災害現場を想定した実習科目を設ける。
- ④ 3・4年次には学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため救急医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。
- ⑤ 国際的な視野を身に付けるために、国際的な救急システムに関する科目を設ける。

2. 教育方法

- (1) 講義、演習、実技、実習を配置し、学修の充実を図る。特に演習、実習を充実させることで実践力を醸成する。
 - ① 講義：インプットとアウトプット（レポート課題など）を両立させながら、知識の定着や論理的思考を養う。
 - ② 演習・実習：医学的根拠を含めた知識の定着と技術の正確性を向上させるため、反復して修得することを重視する。
 - ③ 学生の習熟度に合わせたリメディアル教育を実践する。
- (2) 科目特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を1年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

3. 学修の評価

- (1) 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
- (2) 学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等で評価する。
- (3) 救急救命士国家試験における厚生労働大臣の指定する科目については、国家試験水準での点数評価を重視する。
- (4) 学修到達度の確認には各科目での成績評価に加え、全ての科目においてルーブリックによる評価基準の可視化を実施する。さらに科目特性や必要に応じてポートフォリオによる学修者の省察を実施する。
- (5) 専門知識と医療技術に関する実践能力は、OSCE (Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験) で評価する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

【求める学生像】

1. 救急・災害医療学への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
2. 救急・災害医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
3. 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をチームで実践できる人
4. 国家資格である救急救命士を理解し、倫理観や責任感を有する人

【入学者選抜の種類】

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

「学力の三要素」を踏まえた多面的・総合的評価について

選 抜 区 分		選考方法	① 知 識 ・ 技 能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一 般 選 抜	A 日 程 B 日 程	筆 記 試 験	●		
		※ 実 技 試 験	●		
		※ 面 接 試 験		●	●
	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 利 用 方 式	筆 記 試 験	●	●	
		※ 実 技 試 験	●		
		※ 面 接 試 験		●	●

※ 実技試験はスポーツ文化学部 武道教育学科のみ

※ 面接試験は保健医療学部のみ

「筆記試験」【A・B日程】

高等学校までの学修において、修得すべき知識・技能を評価する。試験科目は、「国語」と「英語」の2科目を実施する。

【①知識・技能】を評価する。

「筆記試験」【大学入学共通テスト利用方式】

高等学校までの学修において身に付けた、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力を評価する。

試験科目は、「国語」と「英語」に加え、「地理歴史、公民」「数学」「理科」「情報」の中から高得点1科目を採用する。

【①知識・技能】【②思考力・判断力・表現力】を評価する。

「実技試験」※ 武道教育学科のみ

指定する種目を通じて、人間の心身の可能性（運動能力の向上等）における探究力、大学教育を受けるに相応しい能力・適性を多面的に評価する。

【①知識・技能】を評価する。

「面接試験」※ 保健医療学部のみ

直接の対話や出願時に提出する書類により、学力試験では測ることのできない適性や意欲、熱意・関心等を多面的に評価する。

【②思考力・判断力・表現力】【③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】を評価する。

調査書については、出願要件（学習成績の状況）の確認及び面接試験等での参考資料として活用する。また、入学後の教育・指導や、入学者選抜制度の検証等に参考資料として活用する。

一般選抜要項

1. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当し、各選抜の出願要件を満たす者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和7年3月卒業見込みの者。
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和7年3月修了見込みの者。
 - (3) 学校教育法施行規則第150条の規程により高等学校を卒業した者と同様以上の学力があると認められた者、または令和7年3月までにこれに該当する見込みの者。
- ※(3)に該当する者で、調査書等の出願書類が提出できない方は、必ず出願開始の2週間前までにアドミッションセンターまで申し出てください。

2. 選抜日程・試験場

出願期間：令和6年12月16日(月)～令和7年1月9日(木) ※期間内消印有効

試験日・試験場・実施学部	区分	試験日	体育	スポーツ文化	スポーツマネジメント	児童スポーツ教育	保健医療	試験場
	A日程	令和7年2月1日(土)	●	● (スポーツ国際学科のみ)	●	● (児童スポーツ教育コースのみ)	●	本学・札幌・高崎・名古屋・大阪(※1)
	B日程	令和7年2月2日(日)	●	●	●	●	●	本学・札幌・高崎・名古屋・大阪(※1)
	大学入学共通テスト利用方式	保健医療学部面接試験のみ 令和7年2月1日(土) ～ 令和7年2月2日(日) ※上記より選択可能	●	●	●	●	● (※2)	保健医療学部面接試験のみ

A日程・B日程

合格発表日：令和7年2月6日(木)

入学手続締切日：令和7年2月14日(金)

大学入学共通テスト利用方式

合格発表日：令和7年2月14日(金)

入学手続締切日：令和7年2月21日(金)

※1 出願時に、受験を希望する試験場を1箇所選択してください。試験場の決定は受験票に記載しますので、必ず確認してください。試験場の詳細は以下より確認ください。

本学会場	東京・世田谷キャンパス	〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
札幌会場	アスティ45	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5丁目
高崎会場	エテルナ高崎	〒370-0841 群馬県高崎市栄町22-30
名古屋会場	名城大学 天白キャンパス	〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501
大阪会場	AP大阪梅田東 日本生命梅田ビル	〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3-3

※2 保健医療学部面接試験について

〈A・B日程、大学入学共通テスト利用方式を併願（他学部含む）する場合〉

- ・試験日は受験票で通知し、筆記試験終了後に面接を実施する。
本学会場：集団面接（対面） サテライト会場：集団面接（オンライン）
- ・保健医療学部の同一学科で併願する場合の面接は1回のみ実施する。

〈大学入学共通テスト利用方式のみ出願する場合〉

- ・個人面接（オンライン）を実施する。試験日は2月1日、2日から受験者が選択する。
また、対象者については、受験者のオンライン環境（インターネットの通信接続環境等）を確認するため、事前に接続テストを行います。事前接続テストの日程および当日の流れについては、Web出願時のメールアドレスに通知します。
（例）

	A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式	面接日
出願パターン1	整復医療学科	整復医療学科	整復医療学科	※面接日を受験票で通知する。
出願パターン2	整復医療学科	体育学科	整復医療学科	※面接日を受験票で通知する。
出願パターン3	体育学科	体育学科	整復医療学科	※面接日を受験票で通知する。
出願パターン4	——	——	整復医療学科	オンラインにて実施 出願時に受験者が選択する。

3. 選考方法

A日程・B日程（共通）

※p.33～34「受験上の注意」を必ず確認してください。

教科	試験科目	配点	備考
国語	国語：「現代の国語」及び「言語文化」（古典を除く）	各100点（合計200点）	マークシート方式
外国語	英語：「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」及び「論理・表現Ⅰ」		マークシート方式
実技試験 ※ 武道教育学科のみ	柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が出願した種目の課題を動画で提出する。	本学武道教育学科の学生としての適性を判断する。	
面接試験 ※ 保健医療学部のみ	集団面接（10分目安） ※ 集団面接の人数は、原則3名で行いますが、試験当日変更する場合があります。	本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。	

大学入学共通テスト利用方式

教 科		科 目	配点	備 考
必須	国語	『国語』	各 100 点 (合計 300 点) 『国語』は 110 点を 100 点換算する	近代以降の文章のみ。
	外国語	『英語』		リーディングのみ。
選択	地理歴史・公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』		・ 高得点の 1 科目を採用する。 ・ 地理歴史・公民の『地理総合／歴史総合／公共』は、2 科目あわせて 1 科目として扱う。 ・ 理科の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2 科目あわせて 1 科目として扱う。
	数学	『数学Ⅰ、数学 A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』		
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		
	情報	『情報Ⅰ』		
必須	実技試験 ※ 武道教育学科のみ	柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が出願した種目の課題を動画で提出する。	本学武道教育学科の学生としての適性を判断する。	
	面接試験 ※ 保健医療学部のみ	面接試験 ※ 2. 選抜日程・試験場の※2を確認してください。	本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。	

※ 旧学習指導要領（平成21年3月告示）に対応した経過措置をおこなう教科「地理歴史・公民」、「数学」、「情報」については、その経過措置科目についても対象とする。

4. A・B日程における英語外部試験の活用について

(1) 英語外部試験の活用方法

任意で提出したCEFRレベル「B1」以上の英語外部試験結果は、CEFRレベルごとに得点化し、英語の得点に加点します。ただし、加点後の得点は、100点を上限とします。

※ 加算する点数 B1＝5点、B2＝10点、C1＝15点、C2＝20点

※ 出願開始日から遡って2年以内に受検したものに限り有効とする。

各試験団体の採点によるCEFRの対照表(文部科学省2018年3月)

※ CEFR (Common European Framework of Reference for Languages)

CEFR	実用英語 技能検定	ケンブリッジ 英語検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT®	TOEIC® L&R TOEIC® S&W
C2	—	230－200		9.0－8.5				
C1	1級 3299－2600	199－180	1400－1350	8.0－7.0	400－375	800	120－95	1990－1845
B2	準1級 2599－2300	179－160	1349－1190	6.5－5.5	374－309	795－600	94－72	1840－1560
B1	2級 2299－1950	159－140	1189－960	5.0－4.0	308－225	595－420	71－42	1555－1150
A2	準2級	139－120	959－690		224－135	415－235		1145－625
A1	3級－5級	119－100	689－270					620－320

※ いずれの英語外部試験も、4技能必須で、複数回受験した場合のスコアの組み合わせはできません。

ただし、英検®は、2次試験が不合格で再度受検した場合に限り、1次試験と2次試験の実施回が異なる場合も利用可とします。

その際は、2次試験の実施回が有効期間内であれば利用可能です。

※ 英検®は従来型英検、英検S-CBT、英検S-Interviewが利用可能です。

※ 英検®を利用する場合に限り、2級以上受検者を対象とし、級の可否は問いません。不合格であっても4技能総合CEFRが認定されていれば利用可能です。

※ ケンブリッジ英語検定はリンガスキルも利用可能です。

※ GTECはBasic、Advanced、CBTが利用可能です。アセスメント版は利用できません。

※ IELTSはペーパー版、IELTSコンピューター版が利用可能です。オンライン版は利用できません。

※ TEAP CBTは2024年度の実施を持って終了、成績スコアの提供は2026年3月末まで継続されます。

※ TOEFL®はIBT (Paper Edition含む) のみ利用可能です。TOEFL iBT Home Edition、My Best TMスコアは利用できません。

※ TOEIC® L & RとS & W (4技能) の合計点を基準とします。

(2) 英語外部試験証明書の提出方法

英語外部試験結果を利用する場合、Web出願システムへの入力とCEFRレベルの確認ができる証明書など(原本)を他の出願書類とともに提出してください。

複数有している場合は、一つ選んで提出してください。

証明書の発行には、申請から入手までに時間がかかる場合があります。出願期日に間に合うよう、早めに準備してください。

※ 出願期間内までに証明書などの発行が間に合わない場合は認められませんのでご注意ください。

※ 出身(在籍)学校で原本照合を行った英語外部試験証明書(コピー)は、原本として取り扱いいます。

(出身(在籍)学校は、調査書を発行した学校と同一であること)

出身(在籍)学校にて次のとおり作成いただくよう依頼してください。

① 当該証明書が原本であることを確認のうえ、コピー(白黒可)をお取りください。

② 印字された面の余白等に、「原本と相違ないことを証明する」旨をご記入のうえ、貴校の公印(学校印または学校長の印)をご捺印ください(公印のコピーは不可)。

③ 証明書の原本及びコピーにご捺印済のものを志願者本人にご返却ください。

5. 併願パターン及び入学検定料

学部・学科（コース）		① A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式	最大併願数
体 育 学 部	体 育 学 科	1学科のみ	1学科（コース）のみ	1学科（コース）のみ	② 5
	健 康 学 科				
ス ポ ー ツ 文 化 学 部	武 道 教 育 学 科	1学科のみ (スポーツ国際学科のみ実施)			
	ス ポ ー ツ 国 際 学 科				
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	1学科のみ			
	スポーツライフマネジメント学科				
児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科	児童スポーツ教育コース	1コースのみ (児童スポーツ教育コースのみ実施)			
	幼 児 教 育 保 育 コ ー ス				
保 健 医 療 学 部	整 復 医 療 学 科	1学科のみ			
	救 急 医 療 学 科				
出 願 可 能 数		3	1	1	
入学検定料 1出願¥35,000 (大学入学共通テスト利用方式¥15,000)		③ ¥105,000 ¥65,000	③ ¥35,000 ¥15,000	③ ¥15,000 ¥5,000	③ ¥155,000 ¥85,000

① A日程で体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部内の最大3学部併願が可能。(学部内での併願不可)

② 全日程(2/1～2/2・大学入学共通テスト利用方式)で併願が可能。(最大5併願)

③ 1併願毎に入学検定料を¥20,000(大学入学共通テスト利用方式は¥10,000)減免。

6. 試験当日時間割

時 間 割		A 日程	B 日程	大学入学共通テスト利用方式
9:00～9:40	試験場入室時間	全受験者	全受験者	
10:00～11:00	国語	全受験者	全受験者	
12:00～13:00	外国語	全受験者	全受験者	
13:30～15:30	面接試験	保健医療学部のみ	保健医療学部のみ	保健医療学部のみ

7. 出願書類

(1) 提出方法

Web出願完了後に、Web出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角2封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」扱いで郵送してください。(「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。)

なお、窓口出願は行っておりません。

(2) 提出書類

① 志願票・写真票(所定用紙)

Web出願完了後、Web出願サイトより印刷してください。

余白および志願票・写真票は切り離してください。

② 調査書等

・出身学校長が作成し、厳封したもので、令和6年10月1日以降に交付されたもの。

ただし、二期制の高等学校を卒業見込みの者は、前期までの成績が記載されたもの。

・高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者は、合格(見込)成績証明書を提出してください。ただし、免除科目がある場合は、以前に在籍した高等学校等の成績証明書も併せて提出してください。(大検合格者も同様とします。)

※ 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。

※ 併願する場合、調査書は1通のみで構いません。

③ 英語外部試験結果証明書（利用者のみ）

英語外部試験結果を利用する場合はp.22をご確認ください。

④ 受験上の配慮申請書・外国籍保有者願書

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合はp.26を、外国籍を有する者はp.26をご確認ください。

⑤ 実技試験動画（スポーツ文化学部 武道教育学科志願者のみ）

出願時に、各種目の課題を撮影した動画を作成し、提出してください。なお、併願数にかかわらず一つのみ提出してください。

◆ 提出方法等

- (1) 撮影した動画はUSBメモリ（DVD-R可）で提出してください。
- (2) 提出された動画は返却できません。
- (3) 動画保存時における拡張子は、『.mp4』としてください。

◆ 試技及び撮影に関する注意事項

- (1) 試技はそれぞれの種目の道着、衣装にて行ってください。
- (2) 本人確認のため試技を始める前に、顔がはっきりと映る位置から氏名・種目・生年月日（西暦）を申告してください。
- (3) 編集・加工は不可とします。それらが認められた場合や、本人確認ができない場合は不合格となる場合があります。
- (4) 試技撮影時のカメラは固定し、全身が映るように撮影してください。
- (5) 試験課題毎に撮影を止める場合は、撮影の都度、氏名・種目・生年月日（西暦）を申告してください。
- (6) 各種目の指定された試験課題が終了するまで撮影してください。

◆ 実技試験 課題詳細

種 目	試 験 課 題	試 験 内 容	撮 影 方 向	備 考
柔 道	① 座礼と立礼	正座 → 礼 → 起立 → 立礼 → 一步前へ	側 面	・ 全ての内容を5分以内にまとめること
	② 受け身	後方受け身・前受け身・横受け身（左右）・前方回転受け身（左右） 各1回		
	③ 一人打ち込み	得意な技3種類 各10回		
剣 道	① 素振り	① 上下振り 20本 ② 斜め振り 20本 ③ 空間打突（正面）20本 ④ 跳躍素振り（早素振り）20本	正 面	・ 全て面を装着せずに実施すること ・ 全日本剣道連盟編「剣道指導要領」を参照
	② 面装着	① 面装着		
	③ しかけ技	① 一本打ちの技（面・小手・胴・突き）各1本 ② 連続技（小手 → 面、突き → 面）各1本 ③ 払い技（払い面（表）、払い小手）各1本 ④ 出ばな技（出ばな面、出ばな小手）各1本 ⑤ 引き技（引き面、引き胴）各1本	側 面	・ 全て面を装着して実施すること ・ 元立ちは高校生とすること ・ 全日本剣道連盟編「剣道指導要領」を参照
	④ 応じ技	① 抜き技（面抜き右胴、小手抜き面）各1本 ② すり上げ技（面すり上げ面（表）、小手すり上げ面）各1本 ③ 返し技（面返し胴（右）、小手返し面）各1本 ④ 打ち落とし技（胴打ち落とし面）1本		
	⑤ 基本稽古	① 切り返し ② 打ち込み稽古 15秒 ③ 掛かり稽古 15秒		
	⑥ 互格稽古	① 互格稽古 1分		

種 目	試験課題	試験内 容	撮影方向	備 考
相 撲	① 蹲 踞	直立姿勢から撮影し、蹲踞の姿勢で3秒静止すること	正 面	・（公財）日本相撲連盟ホームページ「中学校体育 相撲指導の手引き」（改訂版）を参照
	② 中腰の構え	直立姿勢から撮影し、中腰の姿勢で3秒静止すること		
	③「押し」を意識した中腰の構え	直立姿勢から撮影し、「押し」を意識した中腰の姿勢で3秒静止すること		
	④ 仕切り	直立姿勢から撮影し、仕切りの姿勢で3秒静止すること		
	⑤ 塵手水	直立姿勢から撮影し、一つ一つの動作を流れ良く行うこと		
	⑥ 四 股	中腰の構えから撮影し、四股は20回踏むこと		
空手道	① 指定形での試技	第一指定形、第二指定形から一つを選択し試技すること	正 面	・ 形の試技は（公財）全日本空手道連盟が定める指定形で行うこと
少林寺拳法	① 基本諸法	結手、合掌構、左中段構、開退って右一字構、結手	正 面	
	② 基本突蹴受	開足中段構から上段振り突、中段蹴上、中段廻蹴、下受、払受、上受、を各6回行う		
	③ 移動突蹴	左前中段構から差替上中二連突、逆突逆蹴、開退乍ら上受・同時受、を各6回行う		
	④ 単独演武	左前から天地拳第一から天地拳第六、を1回行う		
合気道	① 技	1) 片手取り四方投げ 2) 正面打ち入身投げ 3) 正面打ち第一教 4) 片手取り小手返し	側 面 (実施者が画面を横切るように撮影)	・ 画面に対して横を向き、取りと受けを左右交互に2回実施すること ・ 表裏がある技は表裏の順に行うこと
		5) 両手取り天地投げ 6) 座技正面打ち第一教 7) 半身半立ち片手取り四方投げ		
		8) 半身半立ち両手取り四方投げ 9) 自由技（攻撃方法は任意） 10) 座技呼吸法		
弓 道	① 射法八節	立射にて正面と背面の両方向からそれぞれ一手ずつ行う	正面・背面	・ 必ず射の全体がわかるように常に全身を大きく撮影すること ・ 弓は多少見切れても可とする
なぎなた	① 八方振り	各部8呼間で行う	正 面 (切先も入るように撮影)	・ 自然体 → 礼 → 中段の構えから八方振りに入ること
	② 空間打突	面、振り上げ脛、側面・脛、胴・振り返し面、小手	側 面 (切先も入るように撮影)	・ 中段の構え → 打突 → 体さばきで一步又は二歩下がる → 打突
伝統芸能	① 日本舞踊・和太鼓・民俗芸能	日本舞踊・和太鼓・民俗芸能のいずれか1演目を演じること ※ 試技は身体動作を含むものに限る	正 面 (演目全体がわかるように撮影)	・ 演目名を申告後、演技を始めること（例）日本舞踊「〇〇〇〇」 ・ 演技時間は3～5分以内とする

出願に関する注意事項

1. 受験票の送付について

出願書類到着後、Web出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。(p.30「受験票の印刷」を参照)

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験3日前までにWeb出願サイト上に受験票が確認できない場合、アドミッションセンターまで連絡してください。

※ 不正行為の疑いをもたれぬよう裏面を含め一切の書き込みをしないでください。

2. 出願上の注意

(1) 不備のある出願書類や出願締切後に到着した出願書類は一切受け付けません。

(2) 一度提出された出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求(払込手数料を除く)ができる場合】

・ 入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を送送しなかった。または出願書類が受理されなかった。

・ 入学検定料を誤って二重に支払った。

(3) Web出願完了後、選抜区分、併願、学部、学科(コース)の変更はできません。Web出願完了とは、Webでの出願登録を行い、入学検定料の支払いが完了した段階になります。仮に出願書類を送送していなくても、変更は認められません。

(4) Web出願は、1回目の登録しか認めておりません。システム上で制限をかけておりますので、併願方法等含めて、事前にご検討をいただいたうえで、出願を行ってください。

(5) 出願書類に虚偽の記載がなされていた場合、入学前に重大な不祥事を起こした場合は、合格の場合でも合格取消となりますので、公正な手続き等によって出願・受験してください。

(6) 志願者数の確定後、出願状況を本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)でお知らせします。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

(参照：<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor07>)

けが及び障がい等により受験時または入学後に配慮を希望する場合は本学ホームページより「けが及び障がいのあ
る入学志願者の事前相談について」を確認し、「入学者選抜受験上の配慮申請書(所定用紙A)」を提出してください。

4. 外国籍を有する者の出願書類について

(参照：<https://www.nittai.ac.jp/exam/com/recruitment.html#anchor08>)

外国籍を有する者は、本学ホームページより「外国籍保有者願書(所定用紙B)」を確認し、所定用紙を提出してください。なお、本学では保証人は出願時には必要としませんが、入学手続き時に保証人を定めて届けることとしています。保証人は日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し独立の生計を営む者としてします。

なお、日本国籍を有する二重国籍者は提出不要です。

5. 本学からの連絡について

本学からの連絡については、出願時に登録した電話番号またはE-mailアドレス宛に行います。ドメイン指定受信をしている場合は、本学からのメール(@nittai.ac.jp / @ml.nittai.ac.jp / @e-apply.jp)が受信できるように予め設定しておいてください。

Web出願の流れ



入学検定料支払い前であれば、正しい出願内容で再登録することで実質的な修正が可能です。

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、準備に時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ(10MBまで)、各選抜毎の提出書類など



STEP

2



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nittai-net/>

または、
大学ホームページ ▶ <https://www.nittai.ac.jp/>
からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた「初期パスワード」にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

Web出願サイトによる登録だけでは出願完了となりません。必ず支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類提出期限までに特定記録・速達郵便にて送付してください。必要書類が本学で受理された時点で出願完了となります。必要書類提出期限までに届かない必要書類はいかなる理由でも受け付けません。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②選択区分選択と留意事項の
確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **58021** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードまたはネットバンキングを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなとも、コンビニ、
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

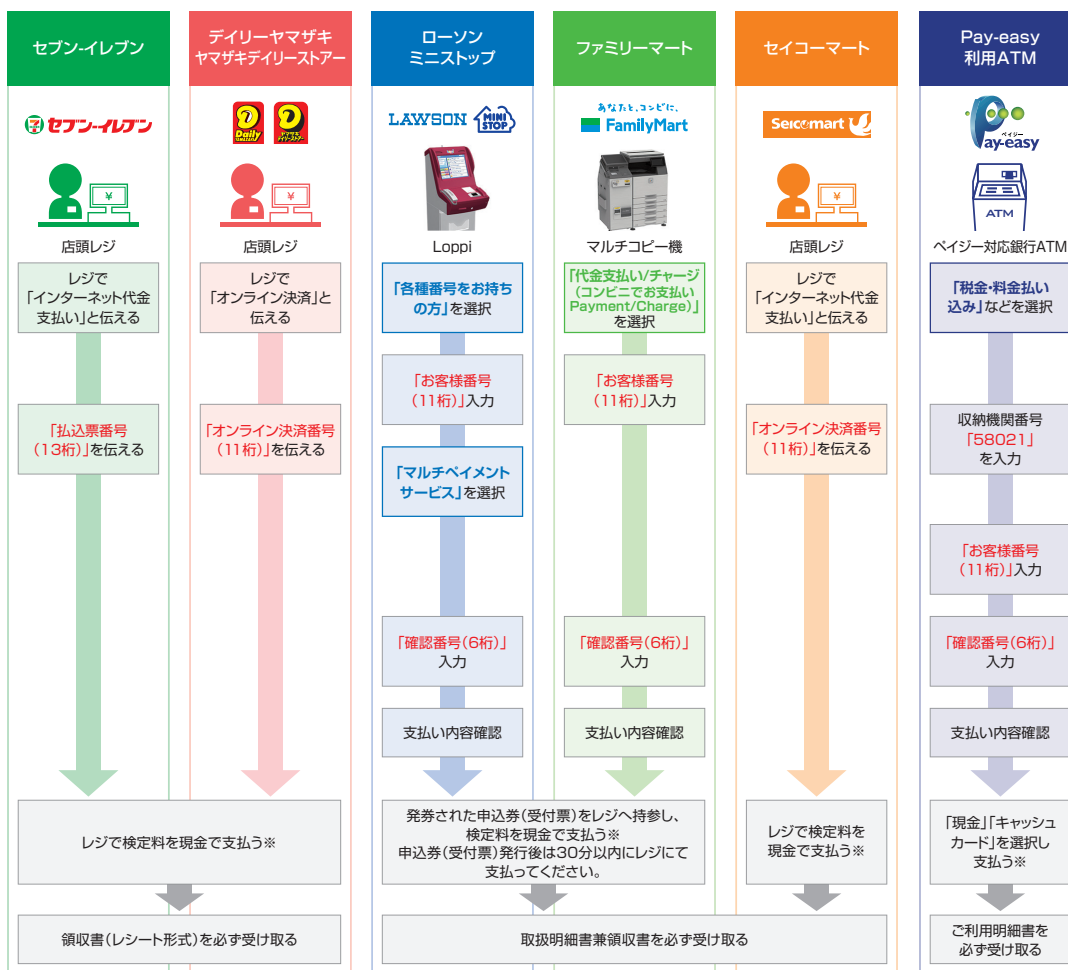
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

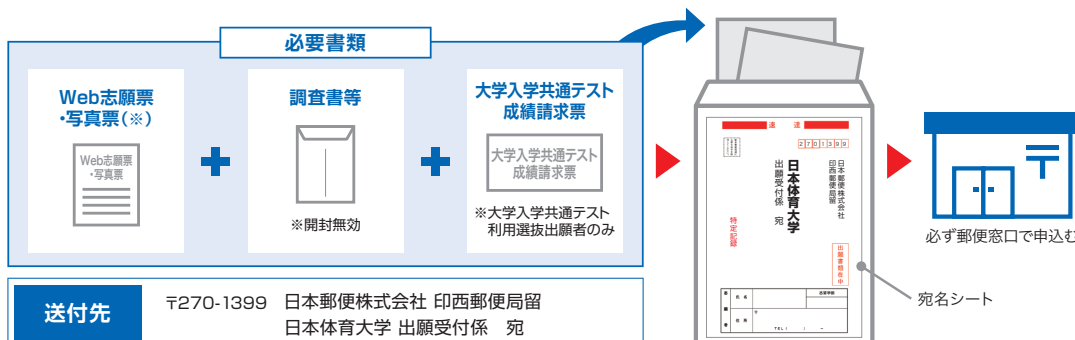


※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の郵送

Web出願登録・入学検定料支払いを行っただけでは出願は完了していませんので
注意してください。登録完了画面または確認メールに記載されている必要書類を、出願期間内に郵便局窓口から「速達・特定記録郵便」
で郵送してください。（出願期間内消印有効）

■出願書類

出願書類に関しては以下の表を確認してください。

必要書類	必要部数	内 容
①Web志願票・写真票	各1	入学検定料支払後、出力可能となります。 A4サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。
②調査書等	1	- 出身学校長が証明し、厳封したもので、令和6年10月1日以降に交付されたもの。ただし、二期制の高等学校を卒業見込みの者は、前期までの成績が記載されたもの。 - 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者は、合格（見込）成績証明書を提出してください。ただし、免除科目がある場合は、以前に在籍した高等学校等の成績証明書も併せて提出してください。（大検合格者も同様とします。） ※併願する場合、調査書は1通のみで構いません。
③大学入学共通テスト成績請求票	1	大学入学共通テスト利用方式出願者のみ 「令和7年度大学入学共通テスト成績請求票私立大学・公私立短期大学用」を提出してください。
④実技試験動画	1	武道教育学科に出願する者のみ p.24～を確認してください。
⑤その他	各1	外国籍を有する者は、p.26の書類を併せて提出してください。

※出願受理した必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験3日前までに
一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロード
できる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください（※郵送は
いたしません）。※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで
通知します。【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。

出 願 手 続 Q & A

	質 問	回 答
出 願 登 録	Web出願はいつからできますか？	各選抜区分における出願開始日の8時30分からとなります。
	Web出願で出願手続が完了しますか？	Web出願のみでは手続は完了しません。本学の「Web出願」は、インターネット上で受験に関する出願情報を登録し、入学検定料を納入後、必要書類をプリンターで印刷する必要があります。 さらに、必要書類を郵送し、本学で受理されて初めて出願完了となります。本学Web出願トップページの「Web出願利用手順」を再度確認してください。(https://e-apply.jp/e/nittai-net/)
	氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまうのですが、どうすればいいですか？	氏名や住所などの個人情報を入力後、登録エラーになった場合は、代替の漢字（ない場合はひらがな）を入力してください。入力できない旨のメモ（A4 サイズ）を出願に必要な書類に同封してください。
	Web出願完了後に氏名・住所等の個人情報を変更したい場合、どのようにすればいいですか？	入学検定料を納入した時点でWeb上での変更は一切できません。出願封筒に手書きのメモで構いませんので修正したい内容を記載して同封してください。入学検定料を納入していない場合は、初めから登録をやり直してください。
	操作を誤って希望とは異なる試験日や学科、選抜区分を選択してしまった場合、変更は可能ですか？	出願期間内であれば修正可能です。アドミッションセンターまでお問い合わせください。 ただし、入学検定料納入後の削除は一切できません。 なお、入学検定料を納入していない場合は新たに登録をやり直してください。
	自宅にパソコンやプリンターが無い場合はどのようにすればいいですか？	高等学校等自宅以外の環境で行ってください。
	自分のメールアドレスがない場合はどのようにすればいいですか？	メールアドレスをお持ちでない場合は、フリーメール（Gmail、Yahoo!メール等）を取得し、登録してください。 ※メールアドレスの登録は、携帯電話のアドレスでも構いません。 ご登録いただくメールアドレス宛に、大学から入学者選抜に関する重要なお知らせを配信する場合がありますので、ドメイン指定受信をしている場合は、@ml.nittai.ac.jp、@nittai.ac.jpまたは@e-apply.jpからのメールが受信できるようにあらかじめ設定しておいてください。
	無事出願できたか不安です。確認することはできますか？	出願完了確認については、受験票の発送をもってかえさせていただいております。なお受験票を発送する際、登録したメールアドレスへ受験票発送完了メールを送信する予定です。
	最大併願数を教えてください。	最大 5併願 可能です。(p.23参照) 【内訳】 ・ A日程で最大 3出願 （体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部内の場合併願可） ・ B日程で 1出願 ・ 大学入学共通テスト利用方式で 1出願

	質 問	回 答
必 要 書 類	併願する場合、調査書は何通必要ですか？	1通のみで構いません。
	Web出願手続後、大学に「調査書」及び「志願票・写真票」を送付する際の要領を詳しく教えてください。	角2封筒(角形2号)をご自身で用意していただきます。(色の指定なし) 「①調査書、②志願票・写真票」を本学入学者選抜受付係宛に「速達・特定記録」扱いで郵送してください。なお、本学入学者選抜受付係宛の住所が記載された宛名シートが、「志願票・写真票」出力時に印刷されますので使用してください。
	印刷した「志願票・写真票」について、余白は全て切り取りますか？	「切り取り線」に従って切り取り、「調査書」と一緒に同封してください。 なお、切り取らずに同封してしまった場合でも問題ありません。
志 願 票 等	大学入学共通テスト利用方式について、志願票1枚しか出力されませんが、写真票は不要ですか？	不要です。
	「※受験番号欄」は、受付番号等を記載しますか？	何も記載しないでください。「※受験番号欄」は、大学側で記載しますので空欄のまま提出してください。

受験上の注意事項

1. 試験当日の注意事項

(1) 持参するものについて

① 受験票

受験票を紛失または忘れた場合は、本学試験担当者に申し出てください。

② 筆記用具

黒鉛筆(HB)、プラスチック製消しゴム

③ 時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)

試験場内に時間を確認できる時計がない場合がありますので、腕時計等を持参してください。

④ 服装・昼食(任意)

試験場換気による窓の開放等を行う時間帯があるため、必要に応じて上着等暖かい服装を持参してください。また、試験会場では学生食堂等の営業は行わないため、必要に応じて昼食を持参してください。

なお、飲食は自席に限ります。

※ 会場内備え付けの自動販売機は利用可能ですが、数に限りがありますので、飲み物はできる限り各自でご用意ください。

(2) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

(3) 筆記試験において英字文や漢字等がプリントされている衣類(上着)は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。その他着衣について指示があった場合は従ってください。

(4) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ、スマートグラス等)の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、試験場から退構するまで、かばん等にしまってください。これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

(5) キャンパス入構時に受験票を提示してください。入構後は、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

(6) 可能な限り、試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

なお、以下の日程は入学者選抜準備及び実施のため、本学キャンパス内に入構できません。

【東京・世田谷キャンパス】

令和6年12月13日(金)～令和6年12月14日(土)

令和7年1月17日(金)～令和7年1月19日(日)

令和7年1月31日(金)～令和7年2月2日(日)

(7) 選考当日の緊急情報は右記URLより確認できます。 <https://blog.nittai.ac.jp/nyushi/>

(8) 車での来場はできません。公共交通機関をご利用ください。



(9) 遅刻した場合について

試験開始後20分までに試験場(キャンパス内)に到着した場合に限り、受験を認めます。

(10) 公共交通機関の遅延等により、試験場入室時間終了までに間に合わない場合は、直ちにアドミッションセンターへ連絡してください。また、当該公共交通機関において遅延証明書を必ず受領してください。

(11) 受験者以外の方は会場内に入れません。(付添人控室はありません。)

(12) 試験終了後の退構について、混雑による事故を防ぐため、時差退構を行う場合があります。担当者の指示に従って退構してください。なお、退構に時間を要する場合がありますが、事故防止のためご協力をお願いします。

(13) 事故・怪我については応急処置をしますが、それ以上の責任は負いかねます。安全に十分注意して試験に臨んでください。

2. 試験時間中の注意事項

(1) 筆記試験について

- ①「受験票」は、試験担当者が見やすいように机上に置いてください。
- ②「受験票」の他に試験時間中、机上に置けるものは、以下とします。
 - ・黒鉛筆(HB)
 - ・鉛筆キャップ
 - ・プラスチック製消しゴム
 - ・鉛筆削り(電動式・ナイフ類を除く)
 - ・時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)
 - ・眼鏡
 - ・ハンカチ
 - ・ティッシュペーパー(袋または箱から取り出した紙のみであること)
 - ・目薬
- ③「耳せん」は、放送や試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので、キャンパス内では使用できません。
- ④座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋(多汗症用を含む)の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。
- ⑤試験時間中に退室はできません。
体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。
- ⑥マークシートについて
 - ㊦記入・マークには、必ず「黒鉛筆(HB)」、「プラスチック製消しゴム」を使用してください。解答が読み取れないことがありますので、シャープペンシルは使用しないでください。
 - ㊧マークは、【マーク記入例】に従って正しくマークしてください。

【マーク記入例】

良 い 例		マーク全体を濃く塗り潰す。
悪 い 例		マーク欄の一部分に印を付けたり、薄く塗る。

㊦ 不正行為について

以下のことを行くと不正行為になる場合があります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退出を指示され、それ以降の受験はできません。また、受験した全ての成績が無効になります。

なお、不正行為に見えるような行為は、試験監督者が注意する場合があります。

- ・カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の受験者から答えを教わること等)を行うこと。
- ・他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けを行うこと。
- ・問題や解答用紙を試験場から持ち出すこと。また、問題を書き写すこと。
- ・試験監督者の指示に従わず、問題を見る、解答を始める、または解答をやめないこと。
- ・試験時間中に使用を認めていないものを机上に置くこと及びそれらを使用すること。
- ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと。
- ・その他試験監督者の指示に従わないこと。

(2) 試験監督者の巡視について

試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

合否照会について

本学の合格発表は、「合否照会システム（インターネット）」により合否案内を行います。不合格通知書は送付いたしません。また、アドミッションセンターに直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けできませんので、下記照会方法をご確認ください。

利用方法・注意点

- (1) インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- (2) 「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- (3) 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。
- (4) 合否照会の利用期間は次のとおりです。

選 抜 区 分	合 否 照 会 シ ス テ ム 利 用 期 間		
A 日程	合格発表	令和7年2月 6日(木)～令和7年2月14日(金)	初日 10:00より 最終日 23:59まで 確認可能
B 日程			
大学入学共通テスト利用方式		令和7年2月14日(金)～令和7年2月21日(金)	

照会方法

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。
また、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)より、上記アドレスへアクセスできますので、ご利用ください。

補欠者・繰上合格発表について

(1) 補欠者の発表

合格発表日に発表しております。「補欠通知書」及び「補欠に関する取扱い文書」については、合格発表当日に発送します。

(2) 繰上合格発表方法

繰上合格者は、合格者の入学手続状況により、補欠者の中から成績順に発表します。繰上合格者への案内は、「合否照会システム」または「電話」にて行い、対象者へ書類を郵送します。

選 抜 区 分		発 表 日	入 学 手 続 締 切 日	連 絡 方 法
一 般 選 抜	1 回目	2月19日(水)	2月25日(火)	合否照会システム
	2 回目	2月28日(金)	3月 4日(火)	合否照会システム
	3 回目	3月6日(木)以降	発表時に連絡	電 話

※ 上記内容は予定であり、予告なく変更する場合があります。確定版は、合格発表日に送付する補欠通知文書で確認してください。

(3) 既に他学科で入学手続を完了している場合

一般選抜、特別選抜の合格者に限り、入学学科・コースの変更が可能です。入学手続時納入金（学費等）は変更後の学科・コースへ振替るので、再度納入する必要はありません。

※ 手続済の学科・コースと納入金額に差違がある場合は、追加納入または返還対応を行います。

※ Web入学手続サイト上での登録は、変更後の学科・コースで再度行う必要があります。

(4) 繰上合格に至らなかった場合

それぞれの選抜区分で繰上合格が終了した場合、本人宛に通知書を送付します。（特定記録郵便）

A・B 日程における成績開示について

令和7年度一般選抜A・B日程の不合格者を対象に試験成績の開示を行います。

(1) 開示内容

- ・ 科目別得点
- ・ 合計点
- ・ 合格最低点

※ 英語外部試験結果を利用した場合は加点後の得点を開示します。

※ 武道教育学科実技試験、保健医療学部面接試験の成績は開示しません。

(2) 開示方法

Web出願サイトのマイページより開示

(3) 開示期間

令和7年5月15日（木）8:30～令和7年5月30日（金）23:59

<注意事項>

- ・ 開示内容に関する問い合わせは応じません。
- ・ 開示期間外は照会できません。
- ・ 郵送や電話での開示及び開示結果に関する問い合わせには応じません。
- ・ 総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜の成績は開示しません。

入学手続

合格者への入学手続書類の郵送は行いません。入学手続については、合否照会システムの案内に従い、「入学手続要領」を確認してください。

1. 入学手続締切日

選 抜 区 分	手 続 締 切 日
A 日程	令和 7 年 2 月 1 4 日 (金)
B 日程	
大学入学共通テスト利用方式	令和 7 年 2 月 2 1 日 (金)

- (1) 入学手続時納入金(学費等)は、Web 入学手続サイトより「振込用紙」を印刷し、入学手続締切日までに金融機関窓口でお振込ください。
- (2) 入学手続書類は必要書類を用意し、手続締切日(消印有効)までに郵送してください。(インターネット上での手続の締切日も同日)
- (3) 手続締切日までに入学手続納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。
- (4) 振込金受取書(本人保存)は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。
- (5) 入学手続締切日以降に入学手続者へ入学手続完了の旨を、入学手続時に登録したアドレスへメールで通知します。
- (6) 一般選抜(大学入学共通テスト利用方式)にて合格し、入学手続をした場合は、入学手続時に「大学入学共通テスト受験票」を提出いただきますので紛失の無いようご注意ください。

2. 入学辞退について

返還請求期限：【窓口】令和7年3月31日(月) 17:00まで

【郵送】令和7年3月31日(月) 消印有効(速達・特定記録郵便としてください。)

入学手続時納入金(学費等)を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届(所定用紙)を提出してください。入学金(¥300,000-)を除く納入金を返還いたします。なお、返還には期間を要しますので早急に手続きをしてください。

○提出先：東京・世田谷キャンパス アドミッションセンター
〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1
TEL：03-5706-0910(直通)
FAX：03-5706-0819(専用)

3. 入学手続における個人情報の取扱いについて

入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。なお、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、提出していただいた個人情報を、委託業者に対して提供することがあります。予めご了承ください。

学 費 案 内

(円)

費目			体 育 学 部 ス ポ ー ツ 文 化 学 部 スポーツマネジメント学部 児童スポーツ教育学部		保 健 医 療 学 部			
					整 復 医 療 学 科		救 急 医 療 学 科	
					前 学 期	後 学 期	前 学 期	後 学 期
①学費	入 学 金	入学時のみ	300,000	—	300,000	—	300,000	—
	授 業 料		400,000	400,000	450,000	450,000	450,000	450,000
	施 設 整 備 費		125,000	125,000	150,000	150,000	150,000	150,000
	教 育 充 実 費		100,000	100,000	125,000	125,000	125,000	125,000
	健 康 管 理 費		10,000	—	10,000	—	10,000	—
	実 習 費		—	—	100,000	—	250,000	—
②その他の費用	学 友 会 費		13,000	—	13,000	—	13,000	—
	保 護 者 会 費		15,000	—	15,000	—	15,000	—
	同窓会準会員費	入学時のみ	10,000	—	10,000	—	10,000	—
分納の場合	③前学期納付金		973,000	—	1,173,000	—	1,323,000	—
	後学期納付金		—	625,000	—	725,000		725,000
一括納入の場合(①+②)			1,598,000		1,898,000		2,048,000	

- ・授業料・施設整備費・教育充実費は、全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合の入学手続時の納入金額は、③の金額となります。(分納された方の後学期分納分の振込用紙は、1年次10月初旬に郵送します。)
- ・入学金・同窓会準会費以外の費目(金額)については、2年次以降も納入していただきます。
- ・学外集中実技を履修した際は、その都度費用をお支払いいただくことになります。
- ・スポーツ文化学部では、選択必修の海外での実習を行いますので、その実費をお支払いいただきます。
参考：スポーツ文化学部令和6年度実習費300,000円(入学後別途案内)
- ・日本体育大学奨学生は、上記のうち、学費の一部が免除されます。詳細については、p.40の「日本体育大学奨学生制度」をご覧ください。

寄 付 金 に つ い て

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。
ただし、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」(教育貸し付け)について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。詳しくは、教育ローンコールセンター 0570-008656 (03-5321-8656)、または「国の教育ローン」で検索、<https://www.jfc.go.jp/> から「国の教育ローン」を選択してください。

●「提携学費ローン」について

日本体育大学が提携する企業を通し、一般より有利な条件で学費を融資してもらう制度です。提携企業による申請資格や審査、融資年利率が設定されるものです。(本学HP：学生生活>学費・奨学金>学費 奨学金・教育ローン参照)

日本体育大学学費ローン		
名 称	株式会社オリエントコーポレーション	
提 携 先	株式会社オリエントコーポレーション	楽天銀行株式会社
問合せ先	株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク	楽天銀行 カードセンター 教育ローン専用ダイヤル
営業時間	平日 9:30～17:30 (土日を除く)	平日 9:00～19:30 (土日祝日 10:00～17:30)
☎	0120-517-325	0120-61-6910

学生生活案内

1. 授業・クラブ活動拠点について

(1) 体育学部

体育学部は、東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパスの両キャンパスを使用して授業を実施します。

■ 体育学科

Web 出願時の大学入学後の競技種目名をもとに、クラスを編成します。

(表 1) クラブ・サークル活動拠点の 1 群を選択した場合は世田谷クラス、2 群を選択した場合は健志台クラスになります。なお、入部を希望しない場合や未定と回答した男子の場合は世田谷クラスになります。女子の場合は原則健志台クラスになりますが、授業クラスの人数の関係上、場合によっては世田谷クラスになることもありますのでご了承ください。

■ 健康学科

1 年次は横浜・健志台キャンパスを中心、学年が進むにつれて、東京・世田谷キャンパスでの授業展開が増していく予定です。(表 2 参照)

(表 1) クラブ・サークル活動拠点

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

群 活動拠点	ク ラ ブ 名
1 群 東京・世田谷 キャンパス	総務部……………総務部
	合気道部、アメリカンフットボール部、カヌー部、空手道部、剣道部、山岳部、新体操部、柔道部、少林寺拳法部、スキー部、相撲部、ソフトボール部、体操部、卓球部、ダンス部、トライアスロン部、トランポリン競技部、軟式野球部、バスケットボール部、バレーボール部(6人制女)、バレーボール部(9人制)、ハンドボール部(女)、フェンシング部、ボート部、ボクシング部、ライフセービング部、ラクロス部、レスリング部(女)、チアリーダー部……………運動部
	応援団部、プラスバンド部……………応援部
	家政部……………厚生文化部
	研究・調査部、運動部 2 部、公認団体(救急医療サークルは除く) その他入学後入部を決定する者・未加入の者(男)
2 群 横浜・健志台 キャンパス	アーチェリー部、ウエイトリフティング部、硬式野球部、ゴルフ部、サッカー部、自転車競技部、水泳部、スケート部、ソフトテニス部、体操競技部、テニス部、バドミントン部、バレーボール部(6人制男)、ハンドボール部(男)、ラグビー部、陸上競技部、レスリング部(男)……………運動部
	研修部……………厚生文化部
	救急医療サークル……………公認団体
	入学後入部を決定する者・未加入の者(女) ※授業クラスの人数の関係上、世田谷クラスになることもある

(表 2) 参考：令和 6 年度授業実施キャンパス ※令和 7 年度は未定です。

学 科	学 年	授業実施(日/週)	
		東京・世田谷キャンパス	横浜・健志台キャンパス
体育学科(世田谷クラス)	1・2・3 年	2 日	3 日
	4 年	3 日	2 日
体育学科(健志台クラス)	1 年	0 日	5 日
	2・3 年	1 日	4 日
	4 年	0 日	5 日
健 康 学 科	1 年	2 日	3 日
	2・3 年	3 日	2 日
	4 年	5 日	0 日

(2) スポーツ文化学部

スポーツ文化学部は、東京・世田谷キャンパスで授業を実施します。

(3) スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学部は、横浜・健志台キャンパスで授業を実施します。

(4) 児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育学部は、東京・世田谷キャンパスで授業を実施します。

(5) 保健医療学部

保健医療学部は、横浜・健志台キャンパスで授業を実施します。

2. 日本体育大学奨学生制度

本学では、学業成績または競技成績が優秀で心身ともに健全な学生に対し、奨学生制度を設け、学費について下表のとおり減免を行っています。

なお、この制度は本学奨学生選考委員会の選考を経て、年度ごとに採用されるものです。そのため、前年度に奨学生であっても、学業成績や競技成績等により奨学生選考委員会で選考した結果、翌年度は奨学生ではなくなる場合があります。予めご了承ください。

No.	名 称	対 象	免 除 す る 費 目	申 請 時 期 等
1	特別奨学生A	競技成績優秀者 (体育学部)	〔1年次〕 …… 「入学金」、「授業料」、「施設整備費」、「教育充実費」の全額 〔2、3、4年次〕 … 「授業料」、「施設整備費」、「教育充実費」の全額	申請不要(学費納付時に 該当者に通知)
2	特別奨学生B	(スポーツ文化学部) (スポーツマネジメント学部) (児童スポーツ教育学部) ※児童スポーツ教育学科・児童 スポーツ教育コースのみ対象	〔1年次〕 …… 「入学金」、「施設整備費」の全額 〔2、3、4年次〕 … 「施設整備費」、「教育充実費」の全額	
3	一般奨学生	学業成績優秀者 (全学部)	〔1年次〕 …… 「入学金」、「施設整備費」の全額 〔2、3、4年次〕 … 「施設整備費」、「教育充実費」の全額	申請不要(1年次は前学 期中、2年次以降は学費 納付時に該当者に通知)

No.	名 称	対 象	給 付	申 請 時 期 等
1	メイドー・MCS・長谷川奨学金 (2、3、4年次)	課外活動等の大学生活において目標に向けて強い 志を持って取り組んでいる者	25万円	前年度後学期に申請 (1、2、3年次に申請)
2	雄渾奨学金	奨学金の貸与を受けている者でかつ経済的に困窮 し修学困難な者	20万円	毎年次9月～10月頃

3. 学費減免制度

本学では、学費納付者の負担軽減を図るために学費減免制度を設けています。詳細は以下のとおりとなります。

対 象	免除する項目	申請時期等	備 考
同一の扶養者により扶養されている兄・姉が本学に在学する 入学生(双子入学の場合はどちらか1名)	「入学金」	入学した年度 の6月末まで	
日本学生支援機構等、奨学金の貸与を受けても、なお学費納 入が困難で学業成績が平均水準以上の者(2、3、4年次)	後学期「施設整備費」・「教 育充実費」(単年度採用)	毎年次7月	採用枠あり
1年以内に家計急変があり日本学生支援機構奨学金を併用し てもなお学費納入が困難な者	当該学期「施設整備費」・「教 育充実費」(単年度採用)	随時応相談	

4. 国による高等教育の修学支援新制度

(文部科学省 HP: <https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>)

2020 年 4 月からスタートした高等教育の修学支援新制度は、一定の学業基準、家計基準を満たせば、授業料等の減免や日本学生支援機構の給付奨学金が受けられる制度です。この制度による支援を受けるには、まず日本学生支援機構給付奨学金に申請が必要です。採用された日本学生支援機構の給付奨学金の支援区分により、授業料等の減免額も決定されます。

なお、大学での取り扱いにつきましては、所定の金額を納入していただき、入学後に減免額を還付します。還付時期等につきましては、日本学生支援機構給付奨学金の採用者説明会（5～6 月予定）にてお知らせします。

■ 支援内容	1. 授業料・入学金の免除または減額 2. 給付型奨学金の支給（日本学生支援機構）
■ 支援対象	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生 ※ 支援を受けられる年収目安と支援額は、日本学生支援機構ホームページにてご確認ください。 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html 
■ 申請方法等	日本学生支援機構奨学金（給付）申込手続きを行ってください。採用者に対しご案内します。

5. 寮 案 内

(1) 主 旨

学生寮は学生の経済的負担を軽減するための厚生施設であるとともに、共同生活を通して相互の親睦を深め、社会人・体育人としての基礎的教養を身につけ、実りある学生生活を送るよう、指導・助言にあたっています。

(2) 施 設

寮 名	建物構造	部屋数	総定員数	所 在 地
深 沢 寮（男子）	鉄筋 6 階建	69 室	256 名	東京都世田谷区深沢 5-12-17
和 泉 寮（女子）	鉄筋 3 階建	125 室	250 名	東京都世田谷区中町 5-10-17
健 志 台 寮（男子）	鉄筋 4 階建	132 室	492 名	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町字上谷戸 946-2
健 志 台 桜 寮（女子）	鉄筋 5 階建	80 室	132 名	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 550-1

冷暖房完備で洗濯機、乾燥機及びセキュリティボックス等が設置されています。

(3) 申込条件

寮別の申込条件は、以下のとおりです。

寮 名	申 込 条 件
深 沢 寮（男子）	学友会団体に所属が未定の方も入寮の申し込みができます。
和 泉 寮（女子）	学友会団体に所属が決定している方のみ入寮の申し込みができます。
健 志 台 寮（男子）	学友会団体に所属が未定の方も入寮の申し込みができます。
健 志 台 桜 寮（女子）	横浜・健志台キャンパスを拠点として活動する学友会運動部、もしくは公認団体の競技部門に入部希望の方が優先的に申込みます。 なお、保健医療学部の学生は入部を希望しなくても申込みます。ただし入寮手続きが多い場合は希望に添えないことがあります。

(4) 費用 (令和6年度参考例)

寮 名	入寮費	食 費	寮 費 (月額) ※ 光熱水費含む	年 額
深 沢 寮 (男子)	20,000 円	1,530 円 / 日 (3食) ※ 春季・夏季・冬季休業時の提供なし	32,000 円	830,930 円
和 泉 寮 (女子)				
健 志 台 寮 (男子)	20,000 円	1,530 円 / 日 (3食)	33,000 円	927,810 円
健 志 台 桜 寮 (女子)	20,000 円	1,018 円 / 日 (2食) ※ 昼食・日曜の提供なし	1 人部屋 52,000 円 2 人部屋 36,000 円	949,400 円 757,400 円

入寮費は、初回時のみ徴収します。また、更新時に 10,000 円徴収します。

(5) 申込書類 (学生寮案内及び入寮手続書類)

合格者を対象にご案内する「合格者専用サイト」に掲載致します。

(6) 問い合わせ先

深沢寮・和泉寮 TEL 03-5706-0904

健志台寮・健志台桜寮 TEL 045-963-7905

事務取扱時間：月曜～金曜 8:30～17:00



◆ 入学者選抜に関するお問い合わせ先 ◆

日 本 体 育 大 学 アドミッションセンター

東京・世田谷キャンパス

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL 03-5706-0910(直通) FAX 03-5706-0819(専用)

事務取扱時間：月曜～金曜 8:30～17:00

冬季一斉休業期間：2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)

本学ホームページ <https://www.nittai.ac.jp/>

入学者選抜に関する緊急情報
<https://blog.nittai.ac.jp/nyushi/>



※ 試験当日の緊急情報（交通機関の乱れによる試験開始時刻繰り下げ対応等）も
上記アドレスで確認できます。